



第 4 5 号

二刷 4月20日
達印 送料
菅越 毎月
大両 円
兼行 所日
集日 刷行
編朝 印発
定価 1部6

住民検診の

必要性について

従来結核はわが国の国民病といわれてゐたのでありますが、近年は死
れ、毎年国民死亡原因の最高位を占 亡数も死亡率も著しい減少と低下を



//道// 小川温泉のトンネルを抜けて笹川峡谷に入る

続け、昭和三十二年には第六位に下
降致しました。然しながら結核実態
調査の結果に依りますと患者総数は
なお三百万を超え、現在、朝日町で
も二百八名の多数にのぼつて居りま
す。

日夜結核との戦いに長期間苦しん
でいる人、又結核のために職を奪わ
れ社会から落伍してゆく人、家庭内
感染の危険にさらされている人々の
多いこと且つ多額の費用を要するこ
と等を考えますとき、何といふまし
ても結核は我々の生活の脅威といわ
なければなりません。

これを防止する為並に患者を早期
発見するために、毎年住民検診を無
料で行つてゐるわけでありましたが、
昨年の結果を申し上げますと受診率二
五、六%で黒部市の六六%入善町の
九四%宇奈月町の五八%に比べて誠
に低率であります。

本年四月中に大家庄地区は七七%
の良成績を挙ぐるに至りましたが、
その他の地区は、七月から八月中に
実施する予定であります。

「俺は身体が健康だから受ける必
要はない」と云う考えが住民検診を
受けない最大の原因かと思ひます、
が健康でも何時結核菌に侵されな
いとも限りません。結核予防法にも
国民は一年に一回健康診断を受けな
ければならないと規定されて居りま
す。嫌がる人をさそひ合せて住民検
診を受け、結核患者の早期発見に協
力下さい。(民生課)

待ちどろしい

お祭子供の夢を

こわすまい

間もなく、観音祭、(入善町) 鬼
遭祭、(朝日町) がやつてくる。

子供たちは、一日、一日を指おり
かぞえて楽しみにしている。
この楽しい祭も、毎年、すり、イ
ンチキ商売、喧嘩などで不愉快な思
いをさせられるのは困つたことだ家
族そろつて、楽しくお祭りを過すに
は、これだけは守つてもらいたい。

ちよつとぐらい、そのちよつとが
危い。

あき果ドロボウはそのすきを狙つて
いる。家をあける時は、必ず留居番
をおく、戸締りをして出ましよう。

あなたの財布は狙われる祭礼に付
きもの、すり被害を防ぐには
◎大金を持ち歩かない。
◎手提袋、買物かご、ハンドバッ
ク、上衣の外ポケットなどに財
布を入れない。

車の乗り降り、人ごみの中は特に
注意する。

「イワシ」の粉が、一袋三千円、に
せの洋服生地、万病にきく特効薬な
ど、うまい言葉で、「サギ」をする
流れ者が多い。

昨年も、あなたはお産がかかるか
つたので体内に悪い血が残つてい
る。今のうちに悪い血をおろしてお
かねば近いうちに大病になる、「この薬
を飲めばすぐ直る」手相を見ながら
すつかりだまし、「イワシ」の粉末
二袋、五千五百円で買わされた人が
あつた。

桜という「やし」の仲間があなたを
取りかこみ、甘言で買わせようとす
る、あまりうますぎる話に乗つては
大変。

婦人いたずらには、強い態度で。
暗い通り、夜のひとり歩きは避けま
しよう。

見知らぬ人の誘いの言葉にうかつ
に乗らぬように心がけよう。
お子さんに迷子札、所と名前を書
いたものを子供のポケットにでも入
れて下さい。
買物に夢中になつて子供を忘れる
チャッカリ型のないように。

自転車は自転車置場に。

酒は楽しむもの、祭には、必ず酒
の上での喧嘩や、からみつき、があ
ります。

酔つていたので、の言訳けは聞
きあきたはずです。
安易な同情は禁物です。人の迷惑
となる酔つぱらいいは、みんなの力
で追放しよう。

(入善警察署)

琵琶湖産の鮎を放流

約三万尾

解禁 六月二十一日

下新川郡内水面漁業協同組合朝日
支部では県のあつせんによる琵琶湖
産鮎三十キロ(約三万尾)を五月十六
日小川上流アイノマタに放流した。
なお期日は未定であるが更に四十キ
ロ(約四万尾)を小川上流に放流す
る計画である。

境川は発電の工事中なので放流を
断念することになった。

海産鮎は未だ入荷していないがこ
れも来れば放流する。

ニジマス放流時季は未
定であるが本年度の組
合の養殖場の種苗の発
育をみて各河川に放流する予定であ
る。なお本年は組合では専任の監視
員を置いて見廻つてゐるが解禁まで
各自の自重を望んでゐる。



朝日町に於ける包藏水力とその開発価値について (二)

電源開発特別委員長

酒井 栄

④計画地点と其の概要

④ 境川第一及境川第二地点本地点は昭和三十一年五月に第四次水力調査が行はれるや未だその使益計算もなされない先に地元の要望と町当局の熱心な誘致運動に動かされた。

北陸電力では通産局の要望もあつて調査設計も未完成のまま、図上設計のみで着工に踏み切つたのであるが、懸々着工することになると予想以上に補償関係が地元の要望や町当局の透致運動と全く逆な形であらわれて来た。

前節

でも述べた如く最近の発電方式は火力発電にベースロードを担わせ水力発電がピークロードを受け持つという今日境川発電所の如き水路式発電所の開発は価値の点では望ましくない計画であり特に北電の如き火力発電設備のない会社に於ては実に苦しい開発計画であつたので、一時着工を見合せ他の地点への変更計画がなされている事実を察知した。

町議

会電源開発特別委員会では町当局と共に地元側へも其の真相を訴へ北陸電力との調整に熱心に努力した甲斐あつて地元民各位の良識と絶大なる協力で、昨年の十一月着工を見るに至つた事は町民各位と共に御同慶に絶えません。計画の概要については(あさひ三月号)で詳細に掲載されましたので省略します。

⑤ 城山地点本地点は小川の水を相ノ又谷合流点で取水し笹川の水を

補給し城山にて発電し日本海に放流する計画である。工事費の割合に出力が全く百%希みうすである。◎ 朝日第一及朝日第二地点本計画は黒部川下流増設計画の最末端に於て其の落差を最も有効に標高〇迄使用せんとするピークロードを担当する土木技術の粋を集めた近代的な新計画である。

現在

工事中の黒部第四発電所が六〇、〇mに依つて常時流れる黒部川本流の時流の水とは別にダムに包容された有効容量一四八、八〇〇〇m³の水の使ひ方に依つて下流に増設される発電所の設備の規模が決定されるのであるが今後の電力需給の変動に依つて使用水量を大きくとも出力を増大した方が益するか逆に使用水量を少くして発電時間をながびかせ設備費も安いが出来も減少する方式が、とくになるかの問題が今後に残された研究課題であつて北電の境川発電所の如くベースロードを受け持つ発電計画と性格を異にして居るため一般町民各位の要望される発電出力や使用水量については着工を見る迄は決定されないものであること、理由も以上申述べたこと、でだいたいおわかりの事と思ひます。が参考迄に、現在の計画案は別表の通りである。

案別	発電所別	発電力	使用水量	有効落差
通産案	朝日第一	316.000KW	110.00m ³ /S	338.00m
会社案	〃	62.000KW	71.00m ³ /S	105.00m
通産案	朝日第二	181.000KW	110.00m ³ /S	193.50m
会社案	〃	123.000KW	71.00m ³ /S	199.00m

ある通り企業会社と異なる関係で小川も取水する計画でなく此等の河川を通り抜けするのみで直接日本海に放流するもので政治屋さんが口やかましう云ふ流域変更と云ふ字句には残念ながらあてはまらない。信心すれば有難いもので誰が云つたか、まかりならぬ流域変更絶対反対とやら先から井戸水かれたとわめきたてる素人の理解を得ることも又至難であるが黒部一円の繁栄と福祉のためお互いに話し合へばわかることで、問答無用で日本を硝煙で包んだ不幸に似た轍を再び踏まないよう心したいものである。

⑥むすび

発電開発は国家の資本を投入して総ての産業の基盤となす公益事業であり協力こそすれ理由ならない理由で反対しても国策の限界を越すことは出来ないはずだそんな事に心を奪われることなく水力開発に最も大切な総体のコストを全国のどの地点より低からしめるよう。総力あげて協力することこそ、吾々町民に課せられた当面の問題であり、本計画を不動な有望地点たらしめる重要な一大事業であり、町民各位の絶大なる信頼と御協力をお願い申しあげ、欄

朝日合唱団



黒部合唱団



第二回

朝日混声合唱団の発表会

朝日町混声合唱団が組織されたのは一昨年で最初は二十余名であつたが本年は五十余名のメンバーとなつた五月十日泊中学校講堂において泊公民館主催、白澤社後援のもとに第二回の発表会を開催した。

世界の民謡、歌謡曲の他に泊の生んだ作曲家故国枝一郎氏の作曲したものを二曲合唱した。

果代表として中央にも進出したことのある黒部市合唱団三十名の賛助出演もあり、椿秀雄氏指揮のもとに童謡、日本民謡に合唱のもつ芸術味を聴衆にたんのうさせた、若い人達や職場における合唱は全国的なものでこれは青年の健全なレクリエーションであるばかりでなくその品性に及ぼす芸術的陶冶は高く評価されている。

筆するものである。

大会スカウト 予定数 約二万名 (外国スカウト三千名)

富山県大会

五月晴れの三日午前九時から富山城跡公園を中心に県下三十五隊七百余名の隊員が参加して盛大にくりひろげられた。

日本連盟歌「花はかおるよ」の合唱があり「なにごとにもまけない少年になつてほしい」と吉田県連盟長の激励のことばがあり、ついでにB S活動に功労のあつた山本勝、牧野平五郎両氏に感謝状が贈られた。



◎源泉所得税についての

改正の概要

今回所得税法が改正され、扶養親族のある人等の所得税が本年四月一日から相当軽減されることになりましたが、この改正のうち、源泉徴収関係のある一部に掲げます、なお改正後の取扱などについて不明の点がありましたら当署でおたづね下さい。

今 年 度		改 正	改 正 前
平 年 分		昭 34 年 分	
納税者に 所得金額 5万円を 超える配 属者があ るときは	70,000	65,000	50,000
1人目		(同右)	"
2人目	30,000	28,750	25,000
3人目			

4人目以下	30,000	26,750	15,000
備考	昭和34年分については4月1日から改正分実施されるため、その引上げの率は平年分の4分の3となつてゐる		

◎税率の引下げ 税率の改正点次のとおり

令 交 第 号	通 用 改 正	階 級 分	改 正 前
10%	100,000 以下	50,000 以下	50,000 以下
11%	—	50,000 超	—
15%	100,000 超	100,000 超	50,000 超
20%以 上 現 行 の 階 級 区 分 ど お り 行 と お り	20%以 上 の 階 級 区 分 ど お り 行 と お り	同 右	—

◎ 給与所得者の所得税負担の軽減状況調

(月額)	区分	月収2の者	月収3の者	3月収の夫婦3人	5月収の夫婦3人	7月収の夫婦3人
		円	円	円	円	円
	本年3月迄の所得税	1,080	1,670	850	3,880	7,600
	4月以降の所得税	870	1,210	330	2,920	6,580
	軽割 減割合	% 19.4	% 27.5	% 61.1	% 24.7	% 13.4

魚津稅務署

「映画入場券の半片は

必ず受取りましよう」

◎納税者の声を聴く座談会開催

税に對する正しき認識をばかり、納税者の税に對するいろいろな御意見なり御不満を聴く座談会を左記により開催いたしますから町民のみならずいせいの御出席されるよう御願ひ致します。

511

一、日時 六月十日午後二時より
一、場所 泊公民館
一、主催者 側出席者

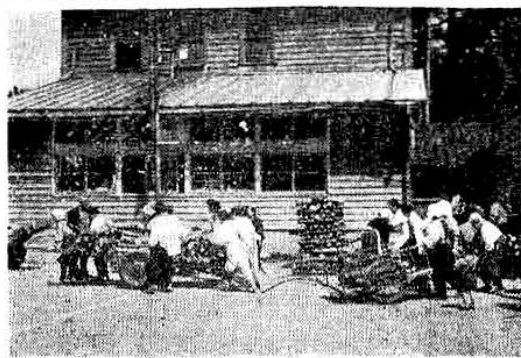
魚津稅務署長及各係官
県稅事務所長及各係員
朝日町長及係員

以上

朝日町婦人会の

役員と行事

会長 水野すな（泊）副会長 野田み
ね（宮崎）全 高島つるい（大家庄）
理事 折谷与信（笹川）全 浜川
しな（五箇庄）全 米丘とみ（南保
）全 常石キミ（山崎）野中は未定



シイタケ 原木の配給

十月 敬老会 日常女学講習会
十二月 正日料理講習会 弁論大会
一月 講演会 郡弁論大会
二月 町政を聴く会
三月 総会
毎月 一日理事會 四日幹事會

シイタケの大増産

昨年は氣候のせいか各家庭のシイタケは良くできたのであるがその關係もあつてか本年は原木の注文が、昨年は二千八百本であつたのが五千二百本と倍になつたので産業課ではその用意に嬉しい悲鳴をあげている

シイタケの大増産

昨年は氣候のせい各家庭のシイタケは良くできたのであるがその関係もあつてか本年は原木の注文が、昨年は二千八百本であつたのが五千二百本と倍になつたので産業課ではその用意に嬉しい悲鳴をあげている

四月	講演会	泊
六月	指導者講習会	山崎
七月	総会	泊
十月	季節保育所慰問	
一月	弁論大会	泊
部活動として		
婦人学級について		
婦人と政治について		
生産方面について		

泊婦人会の役員と行事

会長 水野すな
副会長 金森 操
（会計） 土居ふさ（書記）
理事 大村みな
教化委員長

高島陽子	公報係長
富田みどり	映画係長
寺崎和子	書記會計
居波きん	生活委員長
杉田禎子	政治委員長
行事	
四月 婦人週間	
五月 社会見学（青海電化）	
六月 洗濯講習 講演会	
指導者講習	
七月 講演会 ポロ回収	
八月 民謡講習	
九月 料理講習	
十月 敬老会 日常文学講習会	
十二月 正月料理講習会 弁論大会	
一月 講演会 郡弁論大会	
二月 町政を聴く会	
三月 総会	
毎月 一日理事會 四日幹事會	

シイタケの大増産

昨年は氣候のせいが各家庭のシイタケは良くできたのであるがその關係もあつてか本年は原木の注文が、昨年は二千八百本であつたのが五千二百本と倍になつたので産業課ではその用意に嬉しい悲鳴をあげている

▽水稲水のかけひきと管理

今年の苗代期の陽気が進んでいたため、苗の生育がよく、五月上旬から田植が始まり、五月十七、八日頃には終るようであるが、田植後十日頃には早期追肥と中耕除草、一日田干をなし、これからは出来る限り節水栽培をポリチエレンチューブ利用や水取入口の随時変更、依る水口の冷水被害を少なくするよう、田廻りに注意して下さい。

▽病虫害防除薬剤散布を十分に

田植が例年より早まるにつれて、イネ、ドロオリムシ、ハモグリバエ、イネゾウムシなどが発生し、被害が多くなりますから被害を見たら、すぐBHC、三六粉剤をまくこと。

二化螟虫はポリドールで共同防除をしましょう。

早植になるにつれて、メイ虫の被害が多くなりますので、二回薬剤をかけて



防除することが必要です。

一化ヤの発蛾は昨年より早まつており、最盛期は五月下旬頃と見られるので、とくに昨年被害の多かった田は、今年の発生が早まる傾向にあるので、サヤ枯れの発生に注意し、特殊な早植ではBHC、BPN剤で六月上旬に個人防除をすること。

ポリドール剤での共同防除は、発蛾最盛期から十日、十四日後です。六月上旬頃からおそくとも二十日頃が過期と予想される。これからの病虫害の防除は、早期特殊発生は個人防除を行い、又一斉に共同で一、二回防除が絶対に必要です。から部落共同で薬剤散布を早めに計画をすること。

▽農薬危害防止に注意

ポリドール剤は特定毒物なので取扱事項をよく守り、危害防止と万全を期すこと、人家の密集附近は撒布日時を通知し、風の方向と戸締りに注意をする。尚水田には赤ハタを立て、まく薬は風と共に一時、どこまでも流れるから、その空気を呼吸せぬよう注意する。

▽サツマイモの植付

大麦の成熟する十日前頃、平均気温が十九度と云つたところが、植付の適期である。チソ肥料はひかじめとし、加里を十分施すのが多収獲のコツで、肥コク地では高畦とする方がよい。そして速効性肥料は苗が活着して、イモが分化着生したのちに施すようにする。この時期は植付後一ヶ月たつてからがよい。

黒斑病の被害防除には、浅いカゴに苗を立て、下部十種を四十八度の温湯に十、十五分間つけて消毒をしないとよい。天気の良い日に植付するには、苗を一日位日陰において、発根の準備を

すると根つきがよい。深い植えは乾燥につよいがイモつきが悪い。

▽馬鈴薯の腐敗防除

疫病の発生は、滅収の原因であるが、梅雨期にかけて疫病する薯の肥大は、開花頃が最盛期です。その頃気温が低く(十五、十七度C)湿度の多い日照の少ない日が続く。而も土の水気が多く排水の悪い場所には、ひどい、等量ポルドー液四斗式を三、四回かける。発病の甚だしい時は、ウスブルン水を一斗に五斗加用するとよい。

▽貯蔵時の萌芽の抑制

諸は収穫後三ヶ月で萌芽を始めるが、その抑制に三つの方法がある。
(1) 休眠の破れる二、三ヶ月以後は三、四度Cの低温の場所へ入れる。
(2) 抑制剤MHC三〇の〇、二五%溶液を開花期に一反歩に五斗位かけると、羽春まで萌芽せない。その代り種イモにはならない。

(3) 収穫したもの、を休眠の終る十月頃、ビロタンKで処理する。馬鈴薯一メ匁に四、五匁を薯の頂芽の部分になすりつけて、箱や袋に入れて、低温の時に貯蔵すること。方法は種いもとして差支えなく減収することがない。

環境衛生

① 蠅や蚊をなくしましょう
② 健康で明るい生活を
泊町内では民生課のあつせんによつて消毒薬を割安に購入し、黒部保

姫貝の由来

義経主従は富樫左衛門尉の情ある計いで、安宅の関を無事に通過したが、間もなく河北二郡五庄にわたる土地の武豪、井上左衛門、金沢源次等に行き会つた。
義経主従は東大寺建立の勸進帳を楯に一時の難をのがれたが、あくまでも偽山伏と見込んだ彼等は引き返し追跡して来た。
それと察した義経一行は夕闇を幸いに附近の砂山にかくれ、大野湊神社まで逃がれ、ここから平時忠の内命をうけて途中まで迎へて出でいた桜間ノ介能遠の案内で、船路で能登の北端(現在の珠洲市大谷)に着いた。
ここは平大納言時忠の配所の地で、大納言をはじめ夕花(時忠の娘で義経の愛妾)のよるこびは一方ではなく、その夜はつもの話に徹したが、ここも安住の地ではなかつた。
十日余りにして奥州平泉をさして出発して行つた。
文治三年十月、義経が父ともあお



消毒薬の撒布指導

健所朝日支所の米島技師の撒布指導のもとに、全町もれなく消毒を完了した。

にかつて見たことのない珍奇な貝を発見した。
漁民達はこれを姫貝と名づけた。
世が世であれば九重の奥にも住める身の夕花が、一生一度の恋も一沫の泡と消えて、漁村の海岸にその身をさらし、名もなき漁民達の情によつて葬られねばならなかつた悲運の人夕花が、波のまに、漂着した中の島に、彼女が女性としてのこの世への名残りを、姫貝として岩肌に残して、この世を去つて行つたのだと、漁民達は固く信じて、姫貝の濫獲をいまだして保護して来たものであると言はれている。ことの真偽は別として、義経の愛妾夕花と世にも稀な珍貝とを結びつけた古老の語り草にも一理あつて面白い。
ともあれ、女陰に似たこの珍奇な貝は、小川温泉に、或は宮崎自然博物館を訪う人たちの旅情を慰めるに充分である。
(舟本伊次郎)

日本ボーイスカウト

富山連盟下新川第一団新編成

顧問	川上村 本松
相談役	居波 順治
育成会長	大平 重雄
委員長	氷口 隆造
副委員長	大村 千之
常任委員	氷見 千重
(県連理事)	大村 隆造
"	菅口 之造
"	東田 良作
"	岩田 正雄
"	清原 芳務
"	平野 為信
"	清原 孝
"	土肥 芳
"	上野 孝
"	魚住 雄
"	大平 雄
"	村口 美
"	村口 二
"	以下十名
青年隊長	村口 二
上級班長	村口 二